

金融機関の破綻事例に関する調査報告書概要

(株式会社日経リサーチ)

1. 調査手法等

銀行、証券会社、生命保険会社の破綻要因について、文献調査及びアナリストへのインタビューを通じて、4つの視点(①金融・経済動向、②経営戦略、③リスク管理、④経営管理)から考察。

2. 破綻の要因

上記調査から考察された主要な破綻要因を抽出すると、以下のとおり。

- 金融自由化に見合ったビジネスモデル構築の遅れ (銀行、証券)
- 金融行政の転換による外部環境の急速な変化 (銀行、証券、生保)
- 株価の下落による経営体力・収益力の低下 (銀行、証券、生保)
- 格付けのランクダウン等による資金調達力の低下 (銀行、証券)
- 不透明なディスクロージャーによる経営内容に対する外部の不信の惹起
(銀行、生保)
- リスク認容度を超えた融資の実行や資産運用による損失の拡大
(銀行、証券、生保)
- ガバナンスの欠如によるトップの専横や不祥事の招来 (銀行、証券、生保)

3. 調査より得られた知見

金融機関においては、経営体力やリスク・リターンを踏まえた適正な経営を行うべき。また、金融当局は市場の「審判者」としての役割が求められるとともに、金融システムの安定化のためにセーフティネットを用意することが重要。

(以上)